様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

| | |
|---|---|
| 学校名 | 湘南工科大学 |
| 設置者名 | 学校法人湘南工科大学 |

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 学部名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数 | | | | 省令で定める基準単位数 | 配置困難 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 全学共通科目 | 学部等共通科目 | 専門科目 | 合計 | | |
| 工学部 | 機械工学科 | 夜・通信 | 0 | 20 | 52 | 72 | 13 | |
| | 電気電子工学科 | 夜・通信 | | | 12 | 32 | 13 | |
| | 情報工学科 | 夜・通信 | | | 16 | 36 | 13 | |
| | コンピュータ応用学科 | 夜・通信 | | | 20 | 40 | 13 | |
| | 総合デザイン学科 | 夜・通信 | | | 20 | 40 | 13 | |
| | 人間環境学科 | 夜・通信 | | | 20 | 40 | 13 | |
| （備考） | | | | | | | | |

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバス検索システムにより実践的教育対応科目の検索を可能としている。
https://syllabus.shonan-it.ac.jp/
上記の検索ページの「実践的教育対応」欄において、「実務経験のある教員による科目」または「主に実践的教育で構成される科目」を選択し、検索を行う。

３．要件を満たすことが困難である学部等

| 学部等名 |
|---|
| （困難である理由） |

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

| | |
|---|---|
| 学校名 | 湘南工科大学 |
| 設置者名 | 学校法人湘南工科大学 |

１．理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページへの掲載
「法人に関する情報」
https://www.shonan-it.ac.jp/outline/disclosure/jisedai/
内の「理事・監事 （PDF ファイル）」
https://www.shonan-it.ac.jp/media/rijikannji_20220401.pdf

２．学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容や期待する役割 |
|---|---|---|---|
| 非常勤 | 医療法人理事長 | 2021 年 3 月 21 日～2023 年 3 月 20 日 | 医療分野担当 |
| 非常勤 | 株式会社代表取締役社長 | 2022 年 3 月 21 日～2024 年 3 月 20 日 | 経営・広報分野担当 |
| （備考） | | | |

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|---|---|
| 学校名 | 湘南工科大学 |
| 設置者名 | 学校法人湘南工科大学 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

カリキュラム施行の時点でシラバスの基本事項（科目名、ナンバリングコード、授業の目的、履修の条件、到達目標など）をあらかじめ策定し、当該カリキュラムにおける科目の位置付けを明確化している。

各年度のシラバスについては、前年度１月下旬頃から各担当教員に詳細な内容（授業の進め方、各回の授業計画、予習復習の内容及び時間、成績評価の方法及び基準、課題に対するフィードバック、教科書・参考書等）の記載を依頼、3 月上旬頃から順次記入済のシラバスの第三者チェックを実施、必要な修正等を経て、4 月 1 日にホームページ上に掲載を行っている。

| | |
|---|---|
| 授業計画書の公表方法 | 大学ホームページによる公表<br>https://syllabus.shonan-it.ac.jp/ |

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

本学においては、学生の学修成果に基づく成績評価を厳格かつ適正に行うため、評価の指標及び評価の方法をシラバスに記載しており、これに基づいた具体的な評価基準をルーブリックにより学生にあらかじめ提示することとしている。

なお、評価にあたっては複数の評価方法に基づく総合評価を基本としている。各授業における評価割合については、本学の教育目標の達成を目的として、受講態度及び予習・復習をそれぞれ一律 20%設定するとともに、試験による評価割合の上限を最大 60%までに制限することにより、総合評価の実施を推進している。

また、4 年次における卒業研究の履修については、あらかじめ学則に定めている要件により 3 年次終了時点に卒業研究着手判定を行い、これに合格した者のみが卒業研究を履修できることとしている。

| ３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 | |
|---|---|
| （客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）<br>全学生について、ＧＰＡ制度を実施している。<br>ＧＰＡは「湘南工科大学ＧＰＡ算出基準」に基づいて算出している。<br>＜主な算出条件＞<br>①各授業科目の成績評価の総合評価点数に基づき行う。<br>②認定評価による科目及び卒業要件単位に含まれない教職科目を除く。<br>③学期ＧＰＡ、年度ＧＰＡ及び累積ＧＰＡを算出する。<br>④一旦履修し、不合格となった科目を再度履修し、成績評価がなされた場合、最新の履修及び成績のみを使用し算出する。<br>＜点数の基準＞<br>S（90～100 点）：4.0、A（80～89 点）：3.0、B（70～79 点）：2.0、C（60～69 点）：1.0、D・X・Y・Z（59 点以下・その他不合格）：0.0、N（認定科目）：対象外<br>＜計算式＞<br>GPA ＝｛(S の修得単位数×4.0) ＋ (A の修得単位数×3.0) ＋ (B の修得単位数×2.0) ＋ (C の修得単位数×1.0)｝÷ 総履修登録単位数（DXYZ の単位数を含む） | |
| 客観的な指標の算出方法の公表方法 | 大学ホームページによる公表<br>https://www.shonan-it.ac.jp/campuslife/syllabus/evaluation/ |
| ４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 | |
| （卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）<br>湘南工科大学は、以下に示す３つの能力Ｓ(Sense)、I(Intelligence)、T(Teamwork)を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に、学士（工学）の学位を認定している。<br>Sense：多種多様な情報を集めて判断・分析し、その中から課題を発見して、解決のための構想を描くことができる。<br>Intelligence：教養と専門分野の知識・技能を課題の解決に活用し、その過程を通じて自らを高めてゆくことができる。<br>Teamwork：確かな人間性と社会性に支えられた能動的なコミュニケーションによって、他者と協働することができる。<br>このディプロマポリシーの達成にあたり、上記の 3 つの能力を 6 つの共通指標と 2 つの固有指標に細分化したものをあわせて公表するとともに、これらの指標を各授業の評価基準として評価方法とあわせてシラバスに明記しており、この基準を達成した者に単位を付与することとしている。<br>また、本学のカリキュラムは共通基盤ワークショップ 1A・1B・2A・2B、キャリア形成、進路研究、卒業研究など 4 年間を通じた共通必修科目ならびに各学科の専門必修科目を中心に構成されており、最終的に、共通基盤科目 8 単位、社会人基礎科目 32 単位、学科専門科目 70 単位、自由科目 14 単位、計 124 単位以上を修得した者に学位を認定することとしている。<br>なお、卒業判定は、各学期末の成績付与から成績決定日を経て、教授会において卒業の合否判定を学則に定められた上記の基準等に基づいて実施する。 | |
| 卒業の認定に関する方針の公表方法 | 大学ホームページによる公表<br>https://www.shonan-it.ac.jp/outline/idea/diploma/ |

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

| | |
|---|---|
| 学校名 | 湘南工科大学 |
| 設置者名 | 学校法人湘南工科大学 |

## １．財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|---|---|
| 貸借対照表 | 大学ホームページへの掲載<br>https://www.shonan-it.ac.jp/outline/financial-info/ |
| 収支計算書又は損益計算書 | 大学ホームページへの掲載<br>https://www.shonan-it.ac.jp/outline/financial-info/ |
| 財産目録 | 大学ホームページへの掲載<br>https://www.shonan-it.ac.jp/outline/financial-info/ |
| 事業報告書 | 大学ホームページへの掲載<br>https://www.shonan-it.ac.jp/outline/financial-info/ |
| 監事による監査報告（書） | 大学ホームページへの掲載<br>https://www.shonan-it.ac.jp/outline/financial-info/ |

## ２．事業計画（任意記載事項）

| |
|---|
| 単年度計画（名称：　　対象年度：　　） |
| 公表方法： |
| 中長期計画<br>名　　称：湘南工科大学 第１次中期計画 2020-2024<br>対象年度：2020 年度～2024 年度 |
| 公表方法：大学ホームページへの掲載<br>https://www.shonan-it.ac.jp/outline/granddesign/ |

## ３．教育活動に係る情報

### （１）自己点検・評価の結果

| |
|---|
| 公表方法：大学ホームページへの掲載<br>https://www.shonan-it.ac.jp/outline/evaluation/ |

### （２）認証評価の結果（任意記載事項）

| |
|---|
| 公表方法：大学ホームページへの掲載<br>https://www.shonan-it.ac.jp/outline/evaluation/ |

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

| 学部等名 |
| --- |
| 教育研究上の目的<br>公表方法：大学ホームページへの掲載<br>https://www.shonan-it.ac.jp/outline/idea/ |
| （概要）<br>湘南工科大学は、教育基本法に基づき、工学に関する学術の教授及び研究を行うとともに、実践的、創造的な能力を備えた人間性豊かな技術者を育成することを目的とし、併せて我が国、産業界及び地域社会の発展に寄与することを使命とする。<br>学問研究の推進と、社会の規範となる人格形成を行うとともに、さらに、青年らしい夢と理想を科学の場の中に実現することを目標とする。 |
| 卒業の認定に関する方針<br>公表方法：大学ホームページへの掲載<br>https://www.shonan-it.ac.jp/outline/idea/diploma/ |
| （概要）<br>湘南工科大学は、以下に示す３つの能力Ｓ（Sense）、Ｉ（Intelligence）、Ｔ（Teamwork）を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に、学士（工学）の学位を認定する。<br>・Sense<br>多種多様な情報を集めて判断・分析し、その中から課題を発見して、解決のための構想を描くことができる。<br>・Intelligence<br>教養と専門分野の知識・技能を課題の解決に活用し、その過程を通じて自らを高めてゆくことができる。<br>・Teamwork<br>確かな人間性と社会性に支えられた能動的なコミュニケーションによって、他者と協働することができる。 |
| 教育課程の編成及び実施に関する方針<br>公表方法：大学ホームページへの掲載<br>https://www.shonan-it.ac.jp/outline/idea/curriculum/ |
| （概要）<br>湘南工科大学は、学生が４年間の学修によって学位授与の方針に掲げる３つの能力をバランスよく身につけられるように、教育課程を以下に示す３つの科目群から編成する。編成においては、各科目の教育目標および相互の関連を明確にし、系統的な学修をおこなえるよう配慮する。また、すべての授業でアクティブラーニングの手法を積極的に導入し、汎用的能力を伸ばすとともに、身につけた知識・技術を社会で活用する力を向上させる。<br>・主体的に学びに向かう姿勢を確立するための「共通基盤科目」<br>・現代に生きる社会人に求められる基礎的な技能を身につけ人間性を高めるための「社会人基礎科目」<br>・社会で役立ち自らの成長の土台にもなる工学の専門的な知識と技術を身につけるための「学科専門科目」 |

| |
|---|
| 入学者の受入れに関する方針<br>　公表方法：大学ホームページへの掲載<br>　https://www.shonan-it.ac.jp/outline/idea/admission/) |
| （概要）<br>　湘南工科大学は、「社会に貢献する技術者の育成」を大学の方針（ミッション）として掲げています。これからの社会を支え発展させていくためには、人間性豊かで柔軟な思考に工学の知識と技能を兼ね備えた人材が欠かせません。新時代の技術者に育つ可能性を秘めた、以下のような入学者を広く受け入れます。<br>・本学における学びの基盤となる基礎的知識・各種技術を有している人<br>・本学の教育システムを理解し、情熱と向上心を持って主体的に学びを継続できる人<br>・科学技術に関心を持ち、新たな知識や技術の修得に意欲的な人 |

## ②教育研究上の基本組織に関すること

| |
|---|
| 公表方法：大学ホームページへの掲載<br>https://www.shonan-it.ac.jp/outline/disclosure/disclosure/ |

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

| 学部等の組織の名称 | 学長・副学長 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| － | 1 人 | － | | | | | 1 人 |
| 工学部 | － | 41 人 | 18 人 | 13 人 | 2 人 | 人 | 74 人 |
| | － | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |

b.教員数（兼務者）

| 学長・副学長 | 学長・副学長以外の教員 | 計 |
|---|---|---|
| 人 | 人 | 人 |

| 各教員の有する学位及び業績（教員データベース等） | 公表方法：大学ホームページへの掲載<br>https://www.shonan-it.ac.jp/teachers/ |
|---|---|

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

| 学部等名 | 入学定員(a) | 入学者数(b) | b/a | 収容定員(c) | 在学生数(d) | d/c | 編入学定員 | 編入学者数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工学部 | 500 人 | 577 人 | 115.4% | 2100 人 | 2248 人 | 107.0% | 40 人 | 11 人 |
| 合計 | 500 人 | 577 人 | 115.4% | 2100 人 | 2248 人 | 107.0% | 40 人 | 11 人 |

（備考）

b.卒業者数、進学者数、就職者数

| 学部等名 | 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数（自営業を含む。） | その他 |
|---|---|---|---|---|
| 工学部 | 472 人<br>(100%) | 24 人<br>( 5.1%) | 392 人<br>( 83.1%) | 56 人<br>( 11.8%) |
| 合計 | 472 人<br>(100%) | 24 人<br>( 5.1%) | 392 人<br>( 83.1%) | 56 人<br>( 11.8%) |

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

| c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 学部等名 | 入学者数 | 修業年限期間内卒業者数 | 留年者数 | 中途退学者数 | その他 |
| | 人<br>(100%) | 人<br>(　　%) | 人<br>(　　%) | 人<br>(　　%) | 人<br>(　　%) |
| | 人<br>(100%) | 人<br>(　　%) | 人<br>(　　%) | 人<br>(　　%) | 人<br>(　　%) |
| 合計 | 人<br>(100%) | 人<br>(　　%) | 人<br>(　　%) | 人<br>(　　%) | 人<br>(　　%) |
| （備考） | | | | | |

## ⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）

●授業科目

大学ホームページ・シラバスに掲載

https://syllabus.shonan-it.ac.jp/

●授業の形態と実施方法

授業には，以下の形態があります。

・講義　　講義室で行われる一般的な授業。

・演習　　課題演習などを主とする授業、本学では外国語の授業が代表的です。

・実技　　本学では、スポーツ関係科目の授業がこれにあたります。

・実験・実習　様々な器具や装置などを使った実験や、ものづくりなどの作業を行う授業。

講義、演習、実技の授業は１コマずつ、実験・実習科目は２コマ連続で行うのが普通です。その他、特殊な実施方法の授業として、曜日やコマを定めずに授業が行われる不定期科目や、休業期間などを利用して短期集中で行う形式の授業（集中授業）があります。

●年間の授業の計画

大学ホームページ・シラバスに掲載

https://syllabus.shonan-it.ac.jp/

## ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

●学修の成果に係る評価の基準

履修登録した科目の成績評価は、シラバスに記載され授業ガイダンスで説明される基準と方法にしたがって、１００点満点で行います。６０点以上が合格で、その科目の単位を修得できたことになります。一方、出席不足や５９点以下の場合は不合格、単位未修得となります。

●卒業の認定に当たっての基準

各科目区分に対して定められている卒業要件単位（卒業するために修得しなければならない最小限の単位数）と、その中に含まれる分野ごとに設定されている必修科目・選択必修科目の要件をすべて満たした上で、合計１２４単位以上を修得することが、卒業の要件となります。

| 学部名 | 学科名 | 卒業に必要となる単位数 | ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項） | 履修単位の登録上限（任意記載事項） |
|---|---|---|---|---|
| 工学部 | 機械工学科 | 124 単位 | 有・無 | 単位 |
| | 電気電子工学科 | 124 単位 | 有・無 | 単位 |
| | 情報工学科 | 124 単位 | 有・無 | 単位 |
| | ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ応用学科 | 124 単位 | 有・無 | 単位 |
| | 総合デザイン学科 | 124 単位 | 有・無 | 単位 |
| | 人間環境学科 | 124 単位 | 有・無 | 単位 |
| ＧＰＡの活用状況（任意記載事項） | | 公表方法： | | |
| 学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項） | | 公表方法： | | |

## ⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページへの掲載
https://www.shonan-it.ac.jp/outline/disclosure/disclosure/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

| 学部名 | 学科名 | 授業料<br>(年間) | 入学金 | その他 | 備考（任意記載事項） |
|---|---|---|---|---|---|
| 工学部 | 機械工学科 | 1,030,000 円 | 200,000 円 | 1 年次：270,000 円<br>2 年次以降：<br>250,000 円 | |
| | 電気電子工学科 | 1,030,000 円 | 200,000 円 | 1 年次：270,000 円<br>2 年次以降：<br>250,000 円 | |
| | 情報工学科 | 1,030,000 円 | 200,000 円 | 1 年次：270,000 円<br>2 年次以降：<br>250,000 円 | |
| | ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ応用学科 | 1,030,000 円 | 200,000 円 | 1 年次：270,000 円<br>2 年次以降：<br>250,000 円 | |
| | 総合ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科 | 1,030,000 円 | 200,000 円 | 1 年次：270,000 円<br>2 年次以降：<br>250,000 円 | |
| | 人間環境学科 | 1,030,000 円 | 200,000 円 | 1 年次：270,000 円<br>2 年次以降：<br>250,000 円 | |

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

●コミュニケーションサークル（CC）制度

本学の特色でもあるアットホーム教育の一環としてはじまったコミュニケーション・サークル（CC）制度は、教員と学生、また学生同士がコミュニケーションを図ることにより、新入生が自発的に大学や自分の将来に対して明るい展望を持ち、大学における目的意識を明確にし、４年間の大学生活を学生自身で自立的に設計し、豊かな大学生活を過ごすことができる環境を作っていく制度です。履修や学習方法から大学生活のあらゆる問題まで教員がきめ細かい指導・助言を行います。また、担当教員の専門分野を通じて、工学とは何か、科学とは何か、大学とは何か、など学問をすることの楽しさや創造することの面白さに気付き、情報交換の場としても利用されています。２年次以降も、ＣＣＥ制度として活動を維持しています。

●ICT を活用した学修支援

授業外の自学自習を自ら確認しながら主体的な学びを進められるように、学修成果をまとめて可視化する ICT を活用した支援の仕組みを用意しています。

・学修管理システム Moodle（ムードル）

授業資料の配付、課題の提出および評価、受講者と担当教員および受講者同士のコミュニケーションなどをインターネット上で行うためのシステムです。多くの授業で活用され、授業外学習時間の増加につながっています。

・e ポートフォリオ

学びと成長を記録し、卒業後の進路選択につなげていくためのシステムです。授業の履修計画と学修成果の自己評価、部活動など授業外の諸活動の記録などを各自で記入します。一方で、各授業の提出物の集積や出欠と成績などが自動的に記録され、それらの状況に対して担当教員が随時コメントを加えます。

・出欠情報管理システム　SAMS（サムズ）

授業の出席は、NFC タグを埋め込んだ学生証を専用のタグリーダー（SAMS）にタッチすることによって記録され、授業ごとに教員が出欠状況を Web システムにアップロードする仕組みです。

●フィールドワーク分野（学外学習）

社会貢献活動科目、インターンシップ科目による単位取得など、学外での活動を単位として認めている科目です。人間としての幅を広げ、社会における技術者の役割を実感できる科目です。

b.進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

●キャリア形成・進路研究

学生一人ひとりが満足できる進路を決定するために、3年次前・後期に正課の科目として行っています。はじめて社会へ飛び出す学生のために、その時々でやらなければならないことをメインテーマに、自己分析、業種研究、表現法と体系立てて行っています。

●就職試験対策模擬試験

就職支援の一環として、上記科目内で実施しています。学生の経済的負担を軽減するために、SPI試験、適職試験を湘南工科大学後援会からの助成で行っています。

●就活スキルアップ講座

さらなるスキルアップのため、SPI強化講座、小論文対策、クレベリン検査、CAB・GAB試験、エントリーシート講座、履歴書の書き方講座、身だしなみ講座、面接対策講座等様々な講座を開講します。

●学内合同企業セミナー

本学の学生の採用に前向きな企業の採用担当者を迎え、毎月合同企業セミナーを開催しています。毎年多数の企業にご参加いただき、これをきっかけとして内定・入社へとつながった学生も多数います。

●個別相談

長年企業で採用する側に立っていた専門のアドバイザーが、随時、就職に関するあらゆる悩みにアドバイスを行っています。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

●保健室

学生生活をより充実した意義あるものとするには、心身共に健康でなければなりません。特に新入生においては環境の変化などで健康を害することが多々あります。気軽に保健室のドアをたたいてください。医師よる健康相談および専門職員が応急措置にあたっています。

・校医による健康相談

毎月第3火曜日　14時30分～15時30分

都合により変更する場合もありますので、保健室前の掲示を確認してください。

●学生相談・健康相談について

より充実した学生生活をすごせるように、さまざまな問題や悩みについて、専門カウンセラーが相談に応じる学生相談室を設けています。また、校医による健康相談日もあり、学生が抱えるさまざまな問題解決のお手伝いをしています。

●健康診断について

・定期健康診断

定期健康診断は、学校保健法ならびに学校教育法により義務付けられていますので、全員毎年必ず受診します。未受診の場合、各自診断書を保健室に提出しなければなりません。

・臨時健康診断

競技会や合宿を行うときは、必要に応じて、健康診断を行うことがあります。身長、体重、血圧等は保健室で常時測定できます。

## ⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページへの掲載

https://www.shonan-it.ac.jp/outline/disclosure/disclosure/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

| | |
|---|---|
| 学校コード | F114310104758 |
| 学校名 | 湘南工科大学 |
| 設置者名 | 学校法人湘南工科大学 |

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

| | | 前半期 | 後半期 | 年間 |
|---|---|---|---|---|
| 支援対象者（家計急変による者を除く） | | 183人 | 179人 | 198人 |
| 内訳 | 第Ⅰ区分 | 109人 | 104人 | |
| | 第Ⅱ区分 | 44人 | 53人 | |
| | 第Ⅲ区分 | 30人 | 22人 | |
| 家計急変による支援対象者（年間） | | | | － |
| 合計（年間） | | | | 204人 |
| （備考） | | | | |

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|---|---|
| 年間 | 0人 |

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。） | |
|---|---|---|---|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修業年限で卒業又は修了できないことが確定 | － | | |
| 修得単位数が標準単位数の５割以下<br>（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下） | － | | |
| 出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況 | － | | |
| 「警告」の区分に連続して該当 | － | | |
| 計 | 11人 | | |
| （備考） | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

| 右以外の大学等 | | 短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 年間 | 0人 | 前半期 | | 後半期 | |

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|---|---|
| 退学 | 0人 |
| ３月以上の停学 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| （備考） | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

| | |
|---|---|
| ３月未満の停学 | 0人 |
| 訓告 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| （備考） | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。） | |
|---|---|---|---|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下） | 0人 | | |
| ＧＰＡ等が下位４分の１ | 19人 | | |
| 出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況 | 0人 | | |
| 計 | 19人 | | |
| （備考） | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。